

平成 28 年度 第2回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成 28 年 10 月 11 日 (火) 清瀬市 野塩地域市民センター 第 2 会議室

I. 平成 28 年度第 1 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨

平成 28 年度第 1 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨が承認された。

II. 新河岸川流域川づくり連絡会活動協議事項

第 12 回川でつながる発表会としんぶん里川 81 号について、連絡会メンバーとの意見交換が行われた。しんぶん里川 81 号については特集号企画として、新河岸川流域における流域誌を歩む(案)と、台風 9 号による新河岸川流域の被災状況(案)の 2 案について協議した。

■主な意見等

<しんぶん里川 81 号特集企画について>

- ・台風 9 号による新河岸川流域の被災状況については、まだ行政も把握しきれていない部分が多いため、特集企画とするのは難しいと考えられる。
- ・台風 9 号による新河岸川流域の被災状況については、行政が公表すると思う。新河岸川流域を歩む(案)の方が、2 月に開催される川でつながる発表会の「流域誌をつくろう!」のコーナーと連携を図れるため、企画として良いと思われる。
- ・新河岸川流域における流域誌を歩む(案)について、連絡会では流域誌に関する活動を始めたばかりなので、今後長い時間をかけて取り組んでいくのが良いと思う。
- ・新河岸川流域における流域誌を歩む(案)を掲載する場合には、発表会の「流域誌をつくろう!」のコーナーを PR できると良いと思われる。

<台風 9 号の被災状況について>

- ・新河岸川流域では、流域の上流域で溢水が多かったため、下流域では溢水がそれほど多くなかったという話を聞いた。
- ・台風 9 号の被害は特徴的で、平常時水量が少ない川(不老川、空堀川、東川など)で水が一気に溢れ出た。
- ・河川工事が虫食い状に行われている区域では、川幅が広がったり狭かったりするので、溢水しやすくなっていた。

■決定事項

- ・第 12 回川でつながる発表会は 2 月 12 日(日)に和光市立第三小学校で開催となった。
- ・連絡会メンバーは現地見学候補地に心当たりがある際には、事務局に情報等を連絡する。
- ・里川 81 号の特集企画について、得られる情報量を踏まえ、2 案のうちどちらかを掲載する。

III. 勉強会

前回勉強会(流域誌に関するワークショップの準備)で確認した連絡会メンバーの流域における活動時期を踏まえ、流域誌に関するワークショップを行った。連絡会メンバーは各々流域で印象に残っていることを流域地図に書きだし、発表した。今回のワークショップは限られた時間であったため、第 3 回連絡会の勉強会で引き続きワークショップを行うこととなった。

■ワークショップで話題にあがった印象に残っている事(一部抜粋)

- ・朝霞水門が完成してから新河岸川の被害が減った。
- ・空堀川で 1994 年頃から小魚が見られるようになった。
- ・1950 年から 1956 年頃には水車が使用されていた。
- ・2016 年に不老川でギバチ(絶滅危惧種)が発見された。

IV. 情報交換

・環境問題等について考える「アースデイイン川越立門前」は 10 月 2 日(日) 10 時~15 時まで連馨寺、熊野神社、旧鶴川座、旧織物市場、川越立門前通りで開催された。

・不老川流域川づくり市民の会より不老川流域マップを配付していただいた。

◆平成 28 年度第 3 回連絡会開催について

・第 3 回新河岸川流域川づくり連絡会は、1 月中下旬の開催を予定する。